



ASAHI

INTECC

Your dreams. Woven together.

2008年6月期 決算説明

2008年8月25日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



1 . 2008年6月期決算の概要

2 . 2009年6月期業績見通し



2008年6月期決算のポイント(連結)

- 売上高は11,700百万円(前期比0.5%増)と微増
 - 増収事業: メディカルデバイス 減収事業: メディカル、インダストリアルデバイス

- 医療機器分野を中心とした売上原価の増加を主因に大幅な減益
 - 営業利益は1,057百万円(前期比49.7%減)
 - ▶ 利益率の高いアボット社向け製品の売上減少 (売上総利益率は前期比7.0ポイント低下)
 - ▶ 人件費及び販促費を中心とした販管費の増加 (営業利益率は同9.1ポイント低下)

 - 経常利益は937百万円(前期比57.4%減)
 - ▶ 円高の影響による為替差損117百万円を営業外費用に計上

 - 当期純利益は473百万円(前期比59.2%減)
 - ▶ 確定拠出年金制度移行に伴う終了益82百万円を特別利益に計上
 - ▶ 退職給付債務の算定方法変更(簡便法→原則法)により差額165百万円を特別損失に計上



決算ハイライト(連結)

	2007年6月期(実績)		2008年6月期(実績)					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	修正計画 2008/2/1	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		修正計画比
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	11,643	100.0	12,055	11,700	100.0	+56	+0.5	△2.9
売上総利益	6,643	57.1	6,280	5,866	50.1	△777	△11.7	△6.6
営業利益	2,101	18.1	1,298	1,057	9.0	△1,044	△49.7	△18.6
経常利益	2,202	18.9	1,258	937	8.0	△1,264	△57.4	△25.5
当期純利益	1,158	10.0	769	473	4.0	△685	△59.2	△38.4
EPS	73.10 円	-	48.55 円	29.86円	-			-



セグメント別売上高

	2007年6月期 実績		2008年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	6,958	59.8	6,873	58.7	△84	△1.2
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	2,071	17.8	2,266	19.4	+194	+9.4
<医療機器分野>	9,030	77.6	9,140	78.1	+110	+1.2
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	2,613	22.4	2,560	21.9	△53	△2.0
合計	11,643	100.0	11,700	100.0	+56	+0.5



セグメント別営業利益

	2007年6月期 実績		2008年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	2,279	70.7	1,558	70.7	△721	△31.6
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	501	15.6	347	15.8	△153	△30.7
<医療機器分野>	2,781	86.3	1,906	86.5	△875	△31.5
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	442	13.7	298	13.5	△144	△32.6
計	3,224	100.0	2,204	100.0	△1,019	△31.6
消去・全社	△1,123	-	△1,147	-	-	-
合計	2,101	-	1,057	-	△1,044	△49.7



セグメント別の収益状況

(百万円)

【売上高】

14,000

12,000

10,000

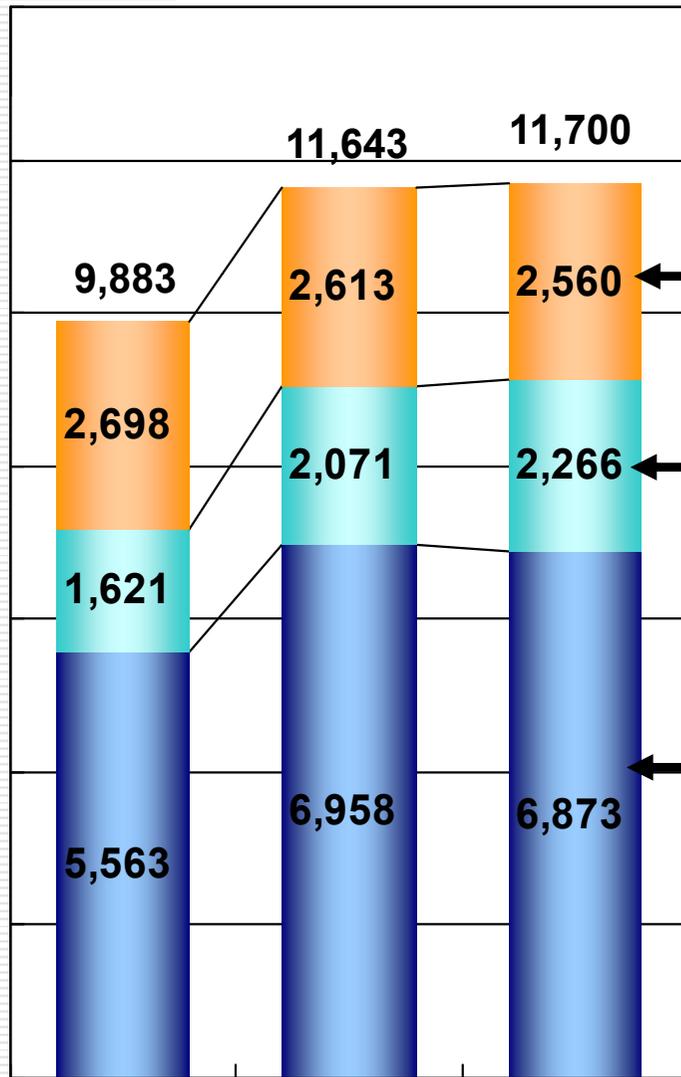
8,000

6,000

4,000

2,000

0



インダストリアル
デバイス

メディカル
デバイス

メディカル

消去・全社

(百万円)

【営業利益】

4,000

3,000

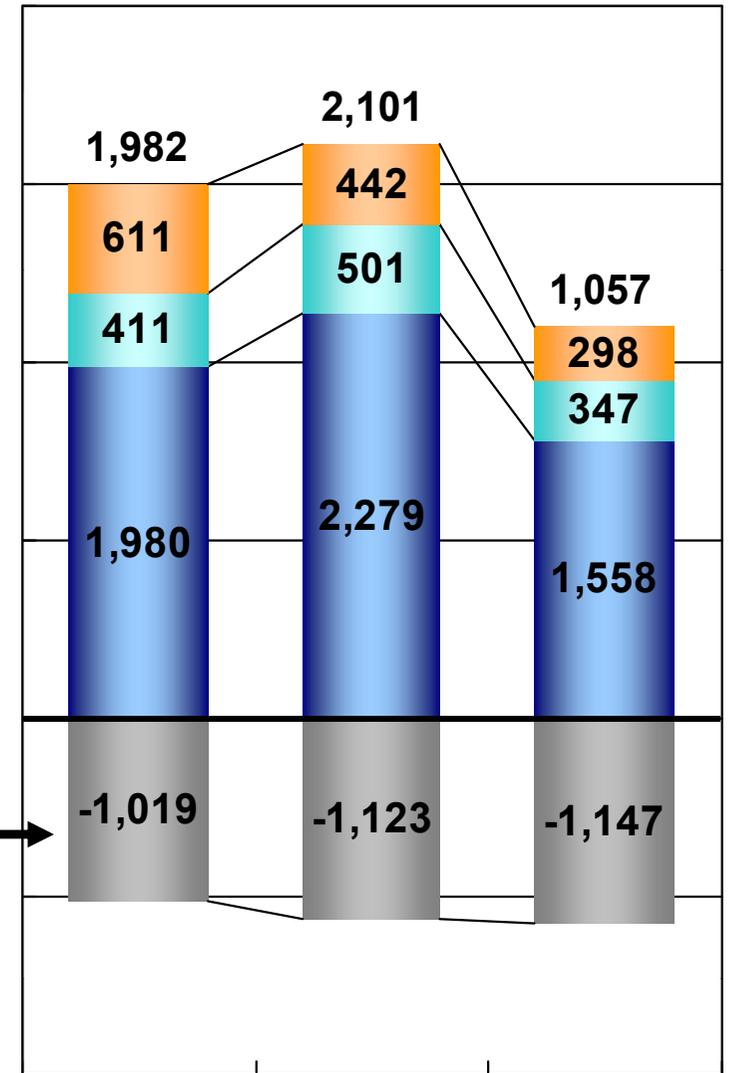
2,000

1,000

0

-1,000

-2,000



06/6

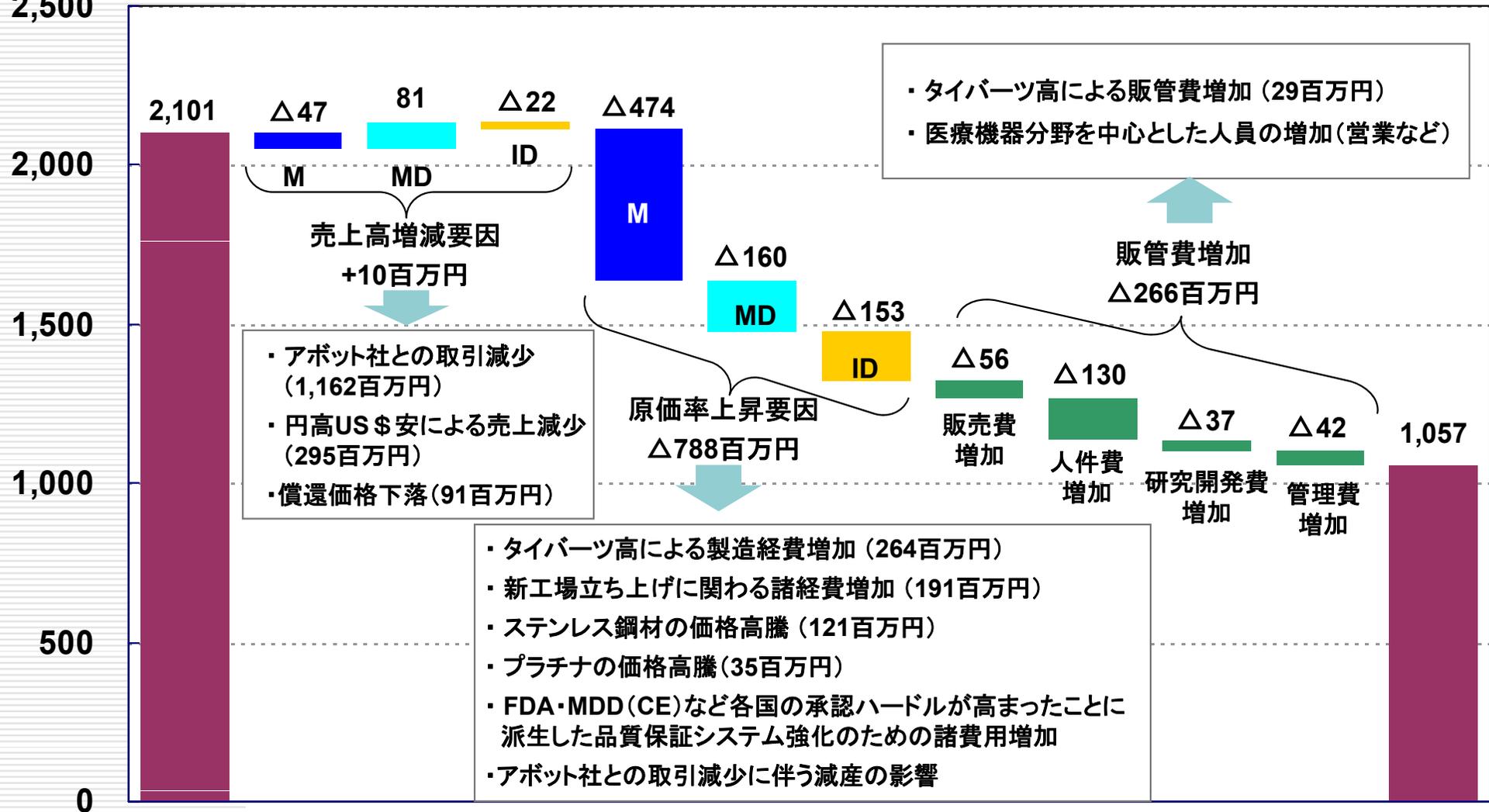
07/6

08/6



営業利益増減要因分析

(百万円)
2,500

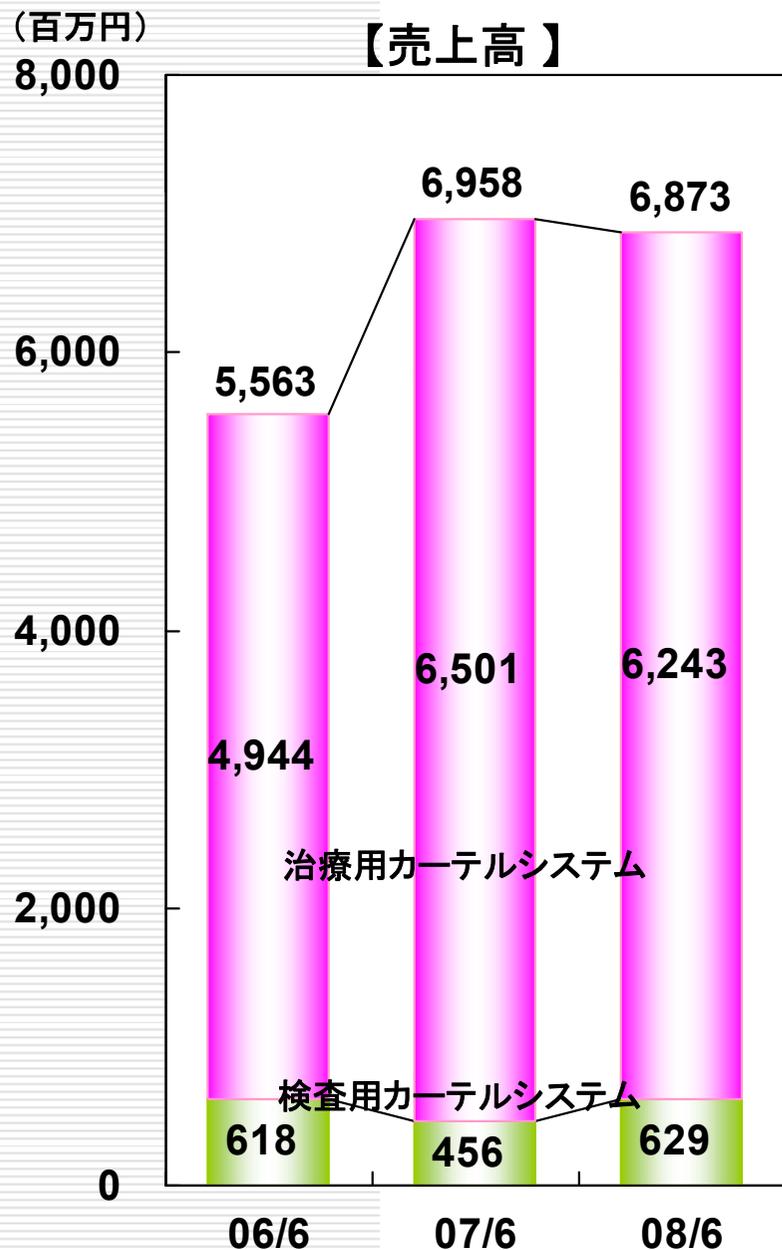


07/6
営業利益

08/6
営業利益



メディカル事業の状況



■ アボット社向け製品の取引減少に伴い減収・減益

- 売上高6,873百万円(前期比1.2%減)
- 営業利益1,558百万円(同31.6%減)

■ 治療用カテーテルシステム

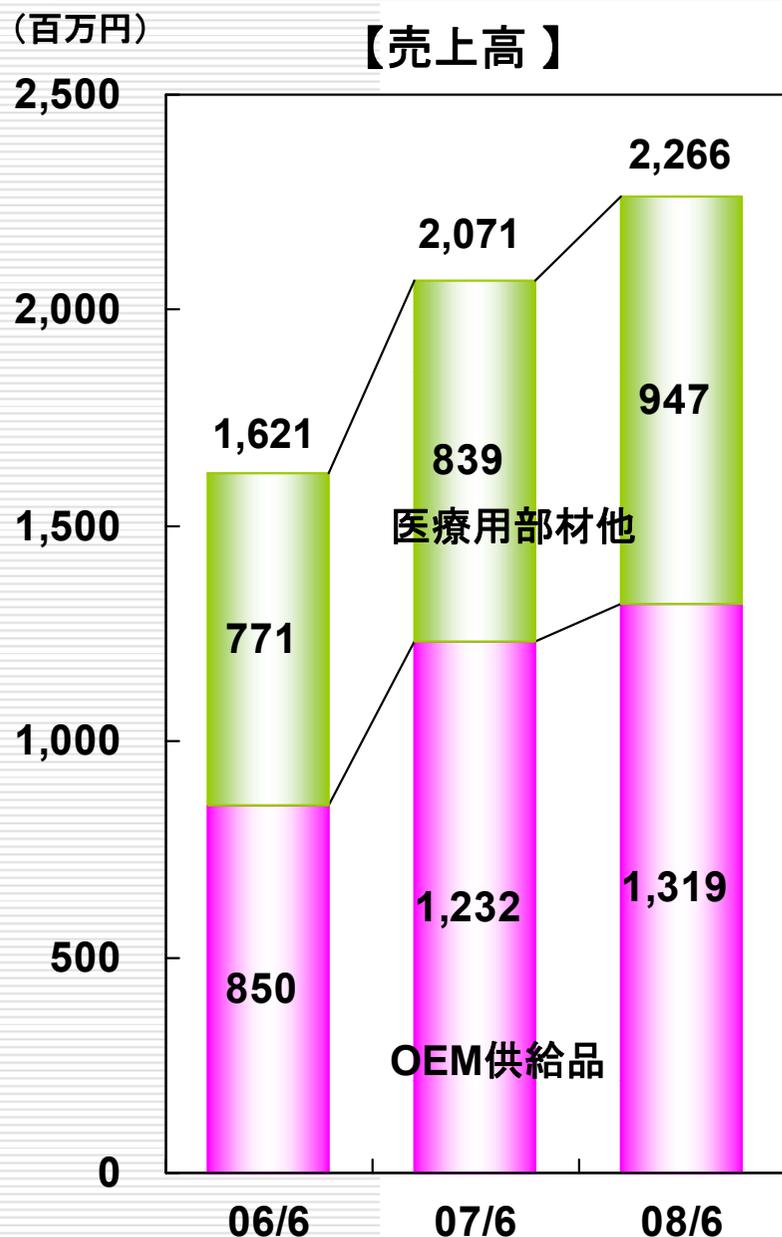
- 6,243百万円(前期比257百万円減、同4.0%減)
- PTCAガイドワイヤー
 - 前期4,981百万円→当期4,346百万円(前期比△12.8%減)
 - ▶ アボット社と2008年度の取引条件協議中に伴い、下期の欧米市場向け販売が大幅に減少
 - 前期2,660百万円→当期1,497百万円(同△43.7%)
 - ▶ 一方、国内・アジア・中近東など欧米地域以外は大幅に増加
- 新製品の市場投入好調につき国内中心に売上増加
 - ▶ ガイディングカテーテル(前期比72%増)
 - ▶ マイクロカテーテル(同45%増)
 - ▶ ペリフェラルガイドワイヤー(同44%増)
- アボット社以外の売上
 - ▶ 前期3,841百万円→当期4,746百万円(前期比23.6%増)

■ 検査用カテーテルシステム

- 629百万円(前期比173百万円増、同37.9%増)
- 競合品との競争激化の影響を受けたものの増収確保



メディカルデバイス事業の状況



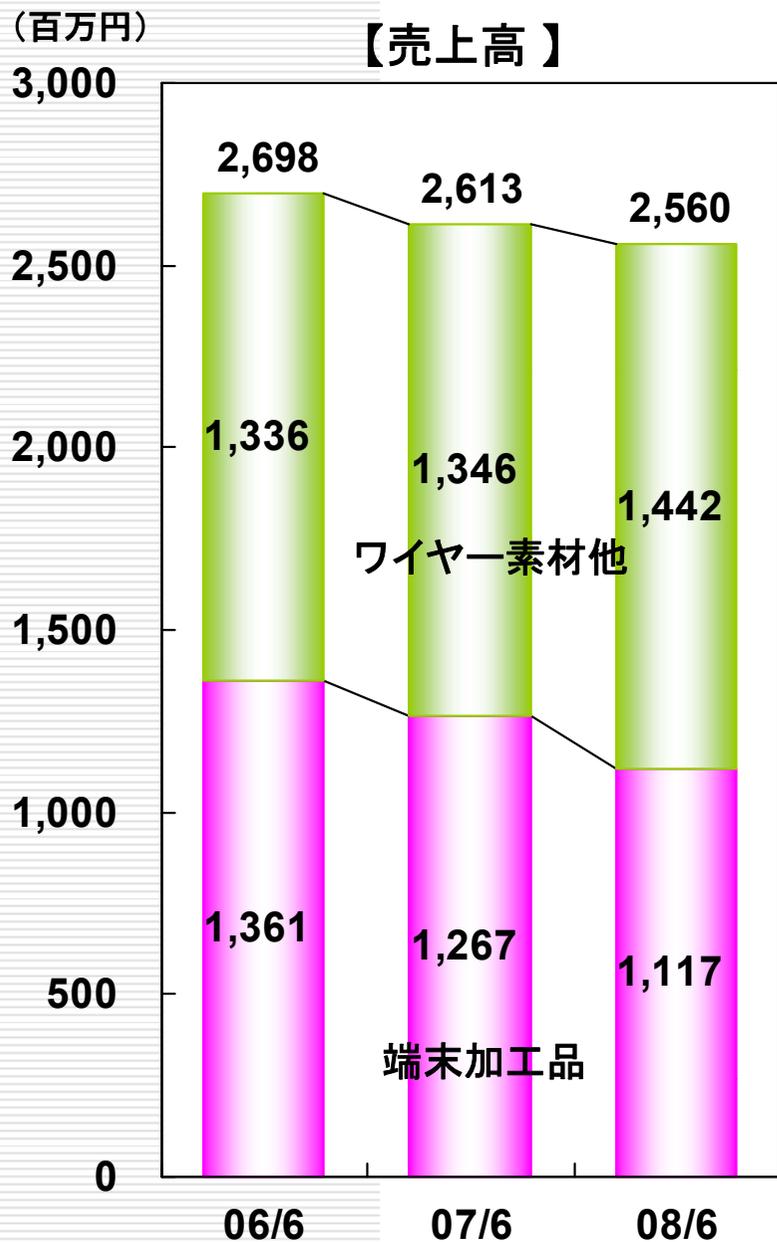
- 医療部材・OEM供給品ともに増収を維持するも、メディカル同様に製造経費の増加により減益
 - 売上高2,266百万円(前期比9.4%増)
 - 営業利益347百万円(同30.7%減)

- 医療用部材
 - 947百万円(前期比108百万円増、同12.9%増)
 - 国内向け内視鏡関連製品が好調に推移
 - 米国企業向け医療部材(トルクコイル)の受注増加
 - ▶ 心臓検査用医療機器部材 など
 - ケーブルチューブ「ACTONE」が堅調

- OEM供給品
 - 1,319百万円(前期比86百万円増、同7.0%増)
 - 国内医療機器メーカー向けOEM供給品が堅調
 - ▶ 中心静脈用ガイドワイヤー、脳動脈瘤用の医療部材が増加
 - 循環器以外の新領域分野への進出
 - ▶ 脳血管系製品の開発等



インダストリアルデバイス事業の状況



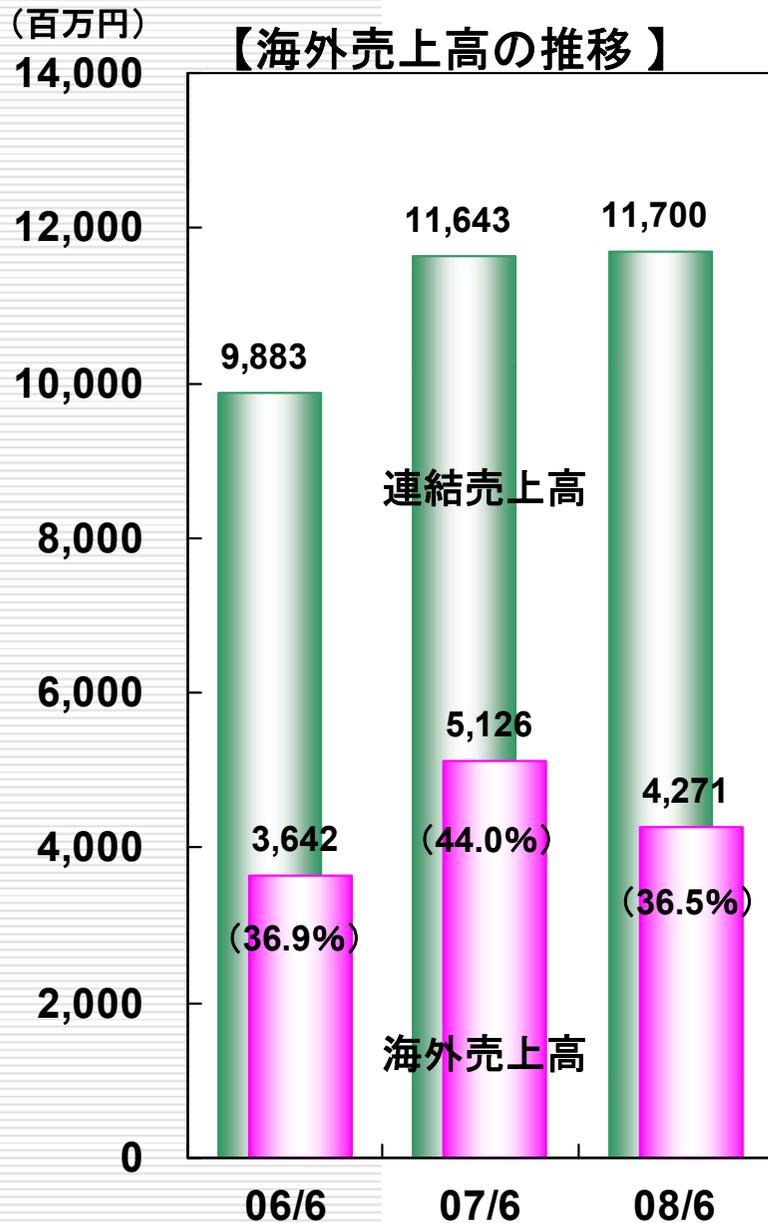
- 景況感の悪化及び鋼材価格の高騰により減収・減益
 - 売上高2,560百万円(前期比2.0%減)
 - 営業利益298百万円(同32.6%減)
- 高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力

- ワイヤー素材
 - 1,442百万円(前期比96百万円増、同7.2%増)
 - 下記製品を中心に取引が増加
 - ▶ 海外大手OA機器企業向け印刷機用放電タングステンワイヤー
 - ▶ 自動車排気ガス浄化装置製造関連製品

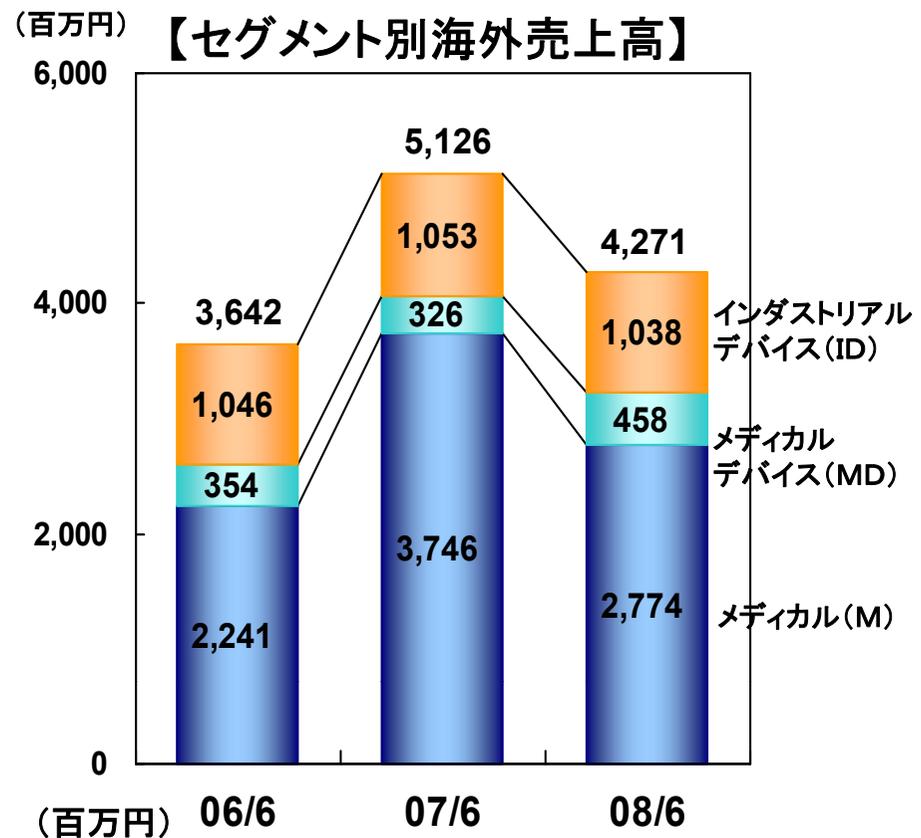
- 端末加工品
 - 1,117百万円(前期比149百万円減、同11.8%減)
 - OA機器関連製品全般の取引が減少
 - ▶ OA機器複合化などに伴う部品市場価格の下落



海外売上高の状況



- 海外売上高は854百万円減少(前期比16.7%減)
 - ▶ アボット社と取引条件協議中につき、下期の欧米市場向け売上が大幅減少
 - ▶ アボット社 前期2,660百万円→当期1,497百万円(同43.7%減)
 - ▶ アジア・中近東など欧米以外の地域は順調に増加
 - ▶ アボット以外 前期2,466百万円→当期2,774百万円(同12.4%増)
- 海外売上比率は36.5%





損益の状況(連結)

	2007年6月期 実績		2008年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	11,643	100.0	11,700	100.0	+56	医療機器分野の増収 +110
売上原価	5,000	42.9	5,834	49.9	+834	製造経費増加、原材料価格高騰 等
売上総利益	6,643	57.1	5,866	50.1	△777	同上
販管費	4,542	39.0	4,808	41.1	+266	販促費・人件費の増加 +186
営業利益	2,101	18.1	1,057	9.0	△1,044	
営業外収益	171	1.4	98	0.8	△72	為替差益の減少 △120
営業外費用	70	0.6	218	1.8	+147	為替差損の増加 +117
経常利益	2,202	18.9	937	8.0	△1,264	
特別利益	2	0.0	87	0.7	+85	退職給付制度一部終了益 +82
特別損失	97	0.8	179	1.5	+82	退職給付費用の増加 +165
当期純利益	1,158	10.0	473	4.0	△685	

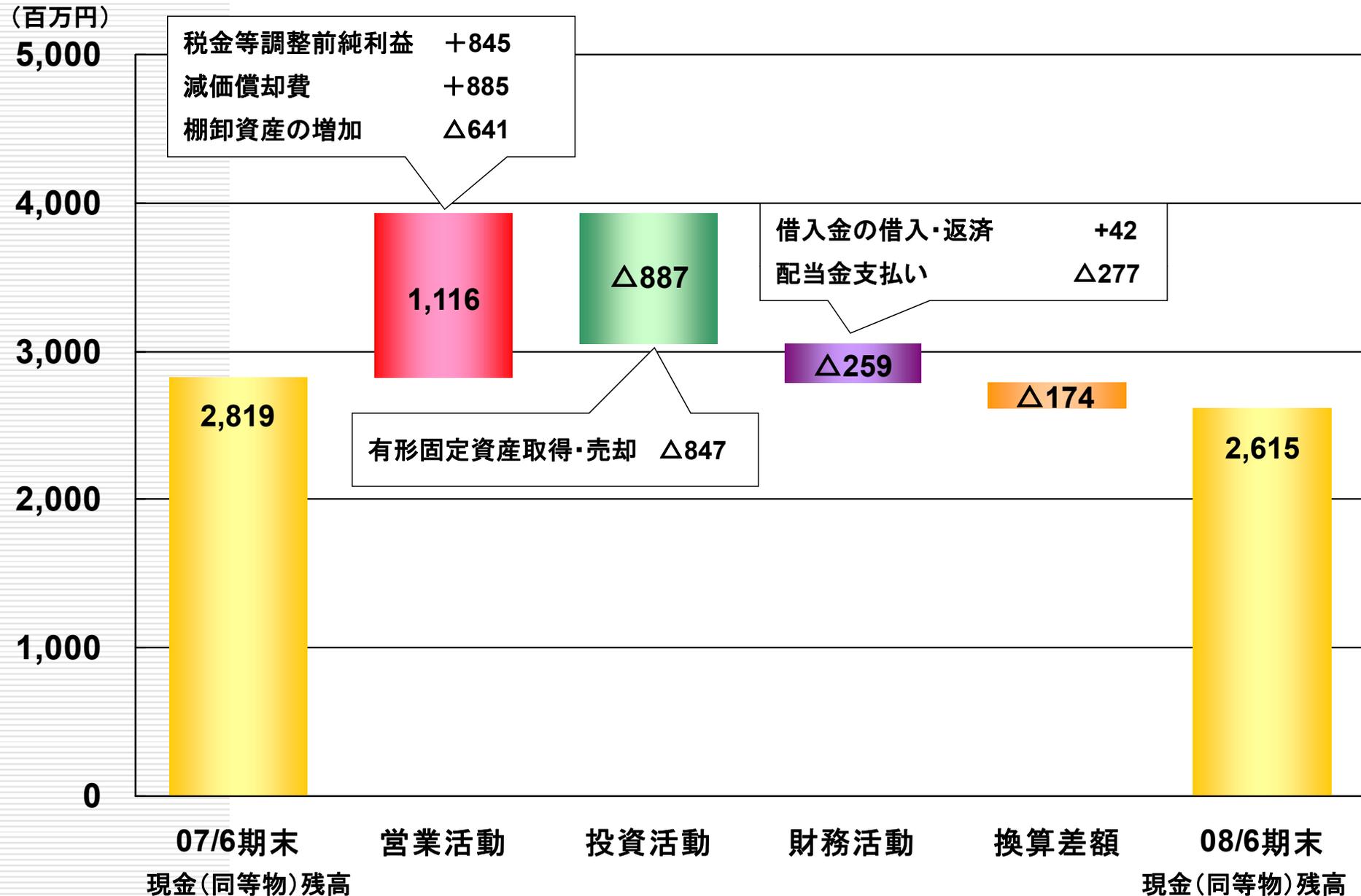


財務の状況(連結)

	2007年6月期 実績		2008年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	10,277	48.7	9,803	49.5	△473	現預金の減少 △317 売上債権の減少 △623 棚卸資産の増加 +391
固定資産	10,816	51.3	9,989	50.5	△827	有形固定資産の減少 △558 投資有価証券の減少 △340
資産合計	21,093	100.0	19,793	100.0	△1,300	
流動負債	4,108	19.5	3,567	18.0	△541	仕入債務の減少 △467 未払法人税等の減少 △199
固定負債	4,007	19.0	3,919	19.8	△87	長期借入金の減少 △53
負債合計	8,116	38.5	7,486	37.8	△629	
純資産合計	12,977	61.5	12,306	62.2	△671	為替換算調整勘定の減少 △665
負債・純資産合計	21,093	100.0	19,793	100.0	△1,300	



連結キャッシュ・フローの状況





1. 2008年6月期決算の概要

2. 2009年6月期業績見通し



2009年6月期決算の見通し(連結)

■ 業績見通しの前提

□ PTCAガイドワイヤーの欧米市場向け売上について

- ▶ 上期 : アボット社との現在の協議状況に準じた数値を反映
- ▶ 下期 : アボット社との契約が継続、若しくは代替企業に取引が変更になった場合においても発生する現実的な見込み数値を反映
また、利益相当分の補填金については業績予想には反映していない

■ 売上高は12,331百万円(前期比5.4%増)と堅調な推移を見込む

- 全セグメント(メディカル、メディカルデバイス、インダストリアルデバイス)で増収見込み
- アボット社以外の取引については順調
 - ▶ 欧米以外の市場(特にアジア地域を中心)ではPTCA治療件数は引き続き増加傾向

■ 売上原価、販管費の増加により大幅な減益見込み

- 営業利益は328百万円(前期比69.0%減)、経常利益は269百万円(同71.2%減)
 - ▶ 原材料価格の高騰、償還価格下落に伴う利益の減少、アボット向け製品の売上減少
 - ▶ 将来の成長に向けた先行的な費用(研究開発費、営業力強化のための人員及び諸経費)の増加
- 当期純利益は35百万円(前期比92.6%減)
 - ▶ 「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用し、特別損失に約100百万円を計上予定

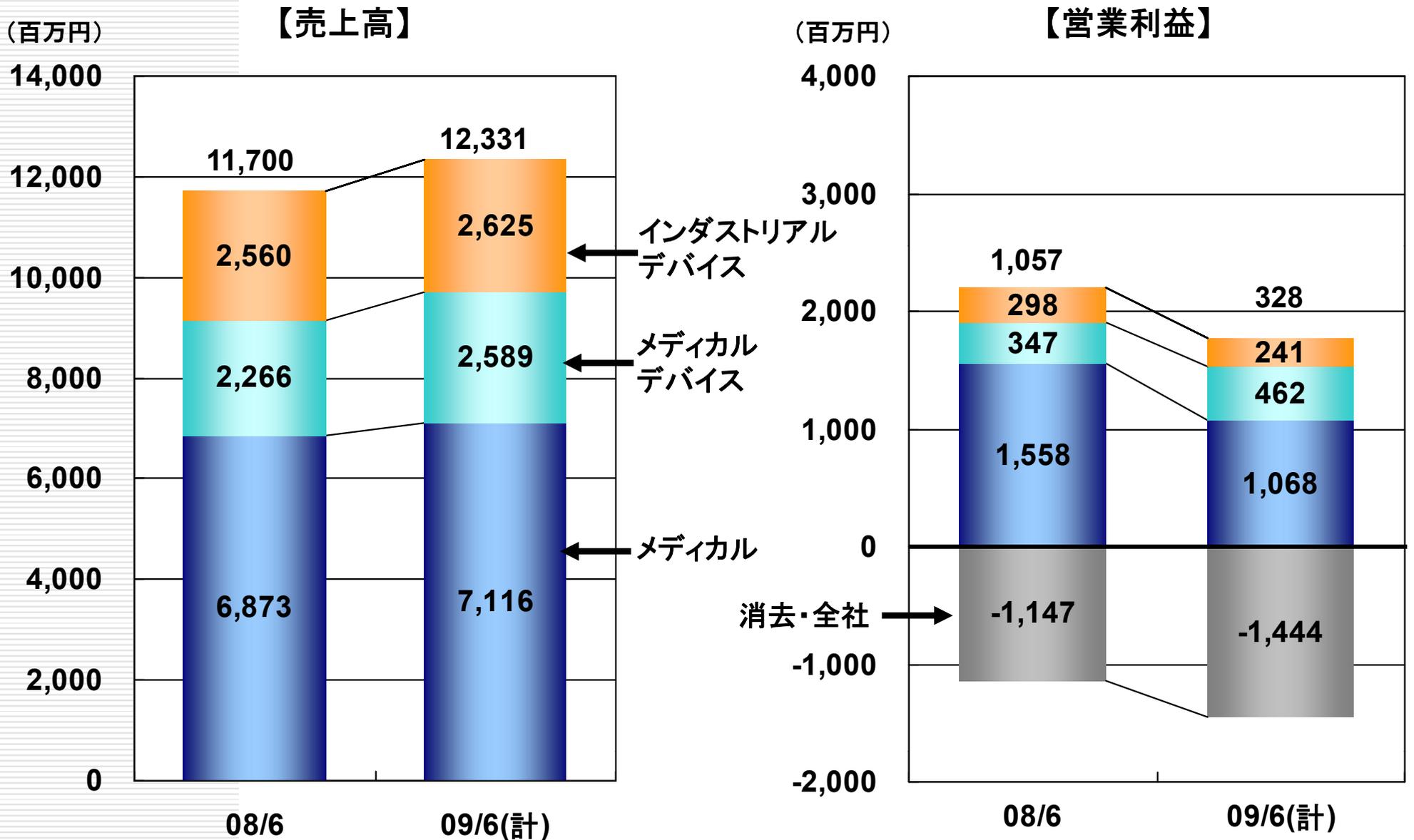


2009年6月期業績見通し(連結)

	2008年6月期(実績)		2009年6月期(計画)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	11,700	100.0	12,331	100.0	+631	+5.4
売上総利益	5,866	50.1	5,991	48.6	+125	+2.1
営業利益	1,057	9.0	328	2.7	△729	△69.0
経常利益	937	8.0	269	2.2	△667	△71.2
当期純利益	473	4.0	35	0.3	△438	△92.6
EPS	29.86円	-	2.22円	-		

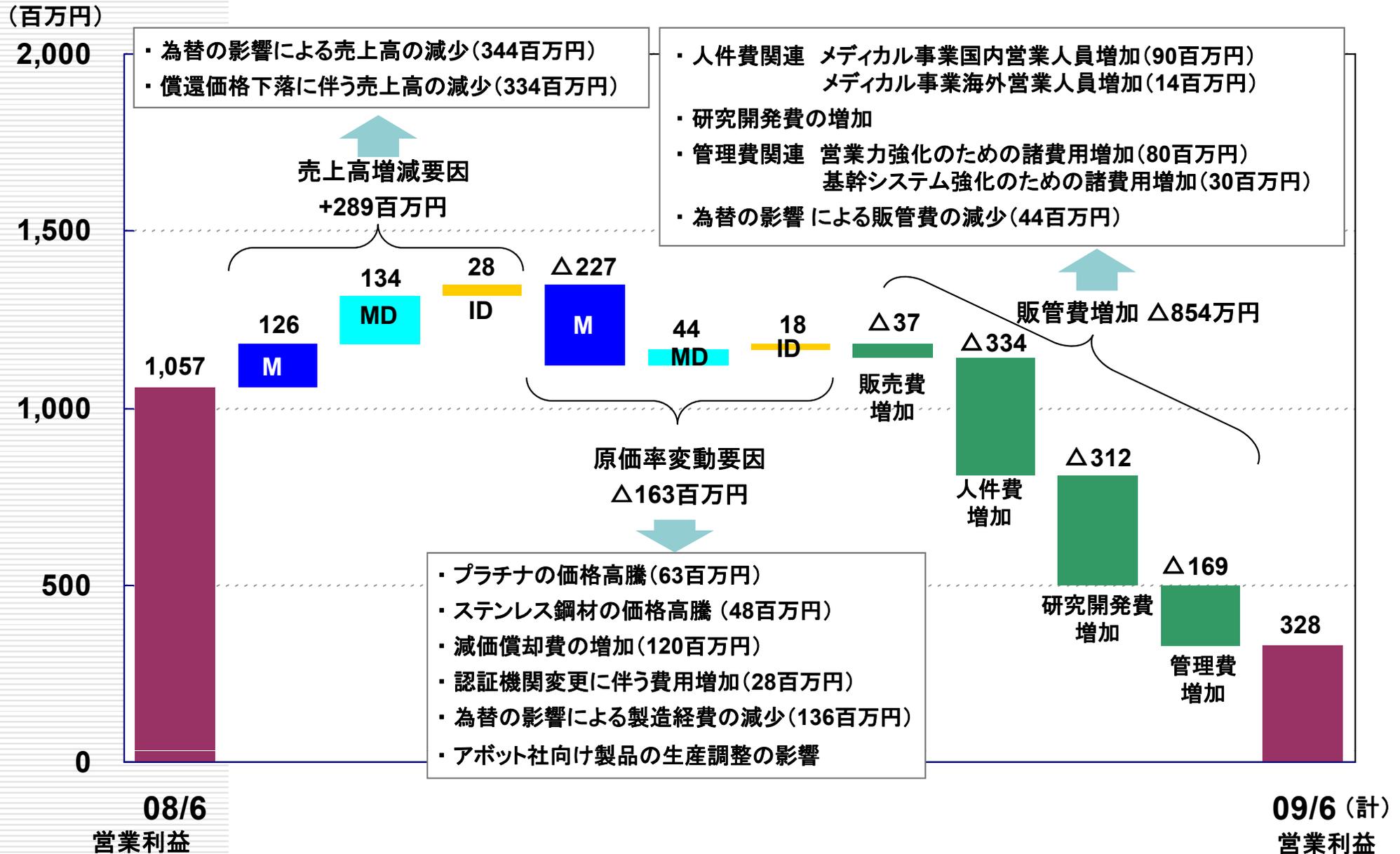


セグメント別の収益見通し



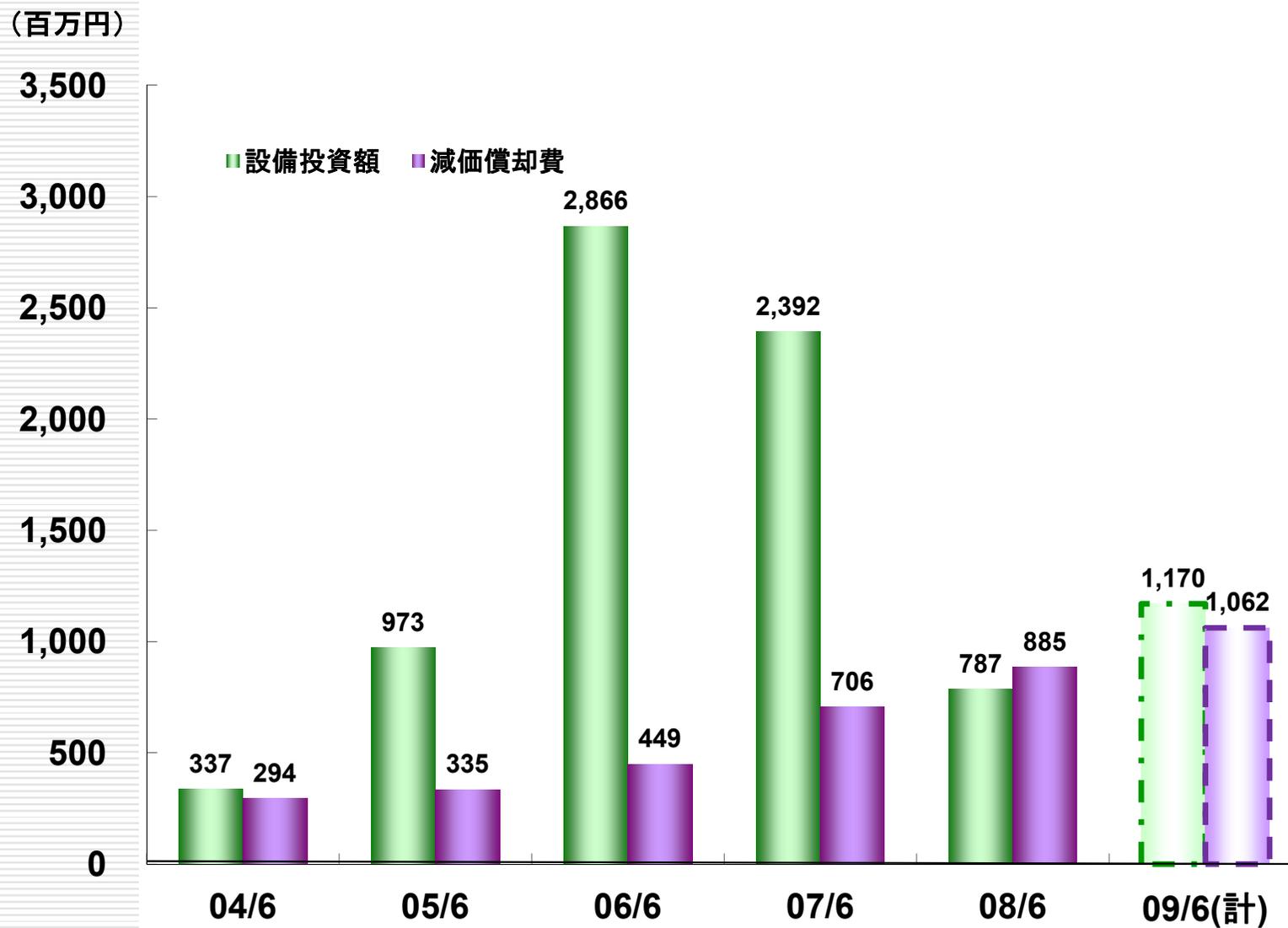


営業利益増減要因見通し





設備投資の実績及び計画





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1211

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>